



日付	スケジュール
11/10	白鷹町発・成田空港～
11/11	ケアンズ着 自然・民族・野生動物について研修 各ホームステイ先へ（1泊目）
11/12	現地の学校訪問 各ホームステイ先へ（2泊目）
11/13	グリーン島エコシステム見学 ケアンズ市内班別自由研修 感想・成果発表会
11/14	現地産直市場見学 ケアンズ発～成田空港
11/15	白鷹町着

次代を担うグローバルな人材を育むことを目的とした「白鷹町青少年国際交流事業」。8回目を迎えた今年度は、白鷹中学校3年生11人と荒砥高校2年生1人が研修に参加しました。

世界に目を向け、異文化での時間を経て大きく成長を遂げた研修生たち。帰国後、田宮副町長へ一人ひとりが英文を交えて研修の成果を報告。12月13日には、町民報告会が行われました。

研修生たちは、現地でのなんなことに挑戦し、何を感じてきたのか。12人のコメントを紹介します。

私が今回の研修で学んだことは、積極的な挨拶とリアクションは大きくするという事です。日本人は、1回は遠慮したり、空気を讀んだりと周りを優先することが多いと思います。しかし、外国は違って、優柔不断だったり、なよなよしていたりするとめられるし、つまらないやつだと思われ、タイミングを失うと感じました。日本でも通じるころはあるので、今後に活かしていきたいです。

竹田 圭吾（白鷹中3年）

今回のオーストラリア研修を通して、海外の人々とコミュニケーションをとることの難しさを実感することができ、また、改めて日本の良さを知ることができました。これからはこの経験を活かし、白鷹をはじめとする日本の良さをもっと広めたり、自分の将来の夢である海外で働くことの実現に活かしたりしていきたいです。

菅間 怜央（白鷹中3年）

私が研修で学んだことは、感謝と挨拶の大切さです。英語が分からなくても、感謝と挨拶を述べると現地の人は笑顔になってくれて、私も緊張が解けて積極的にコミュニケーションを取ることができました。今回実際に自分の目で見たこと、聞いたこと、触れたものを忘れず、今後の生活に活かすことができるようにがんばります。

土屋菜の葉（白鷹中3年）

現地の学校で授業を受けたり、ホームステイ先でオーストラリアの文化に触れたり、食に対する考え方の違いや日本食のすばらしさに気付いたりすることができました。また、言語が違っても、簡単な単語やジェスチャーでコミュニケーションが取れることを体験できました。苦手意識のあった積極性やコミュニケーション能力を伸ばすことができ、自分の成長に繋がる大きな財産となり、一生の思い出になりました。

大瀧 月栞（白鷹中3年）

僕が今回の研修で学んだことは、コミュニケーションの大切さです。パディやホストファミリーと話しているとき、沈黙の時間が続く気まづくなってしまうことがありました。しかし、勇気を出してコミュニケーションを取ってみたら、会話が続いて楽しかったです。コミュニケーションは、日本でも大切なことだと思うので、コミュニケーションをたくさん取っていききたいです。

大嶋 天護（白鷹中3年）

今回の研修で、私の目標であった自分の気持ちを伝えられるようになることを達成することができました。最初は、緊張して自分から話しかけられなかったけれど、たくさんの人との交流を通して自分から話しかけたり、自分の気持ちを伝えたりすることができました。これからの生活では、最初から諦めずに物事に取り組んだり、自分の気持ちや考えを正直に相手に伝えたりしていきたいです。

横山 史（白鷹中3年）



# SHIRATAKA × AUSTRALIA



## 白鷹町青少年国際交流事業報告

### ～目を世界に、心ふるさと～

今回の研修で、英語での会話のつなげ方や積極性、遠慮しないことを学ぶことができました。遠慮をせず自分の気持ちを伝えることで、相手に信頼してもらえると気付くことができました。この経験を通して、英語での会話のやり方や人に分からないことを聞くことができるようになったので、研修前の自分に戻らないように日々成長していきたいです。

齋藤 那菜（白鷹中3年）



私が今回の研修を通して学んだことは、人の温かさです。研修前は環境や言語の違いに不安に思うところがありましたが、現地の人々にとても明るく接していただき、少しずつ簡単な単語からでも言いたいことは最低限伝わるということが分かりました。学校や社会に出ても、不安でも自分から明るく話しかけてみる機会を増やそうと思いました。今回は、このような機会をいただき本当にありがとうございました。

佐竹 彩花（荒砥高2年）



私が今回の研修で特に成長できたと思うのが、積極性です。どうにかして自分の伝えたいことを相手に伝えなければならない環境で過ごしました。文章を頭の中で作れなくても、とにかく単語だけでも発してみる事が大切でした。今回の研修の目的は、行って学ぶことではなく、それらを持ち帰って活かし、町に貢献することだと思います。町に感謝し、培った積極性や親和性を今後の自分に活かしていきます。

森 レイン（白鷹中3年）



私は今回の研修を通して、さまざまなことを学ぶことができました。特に、現地の人とたくさん会話をして、英語は気持ちとある程度の単語があれば会話ができるということを知りました。はじめは、現地の人が少し怖くて積極的に話しに行けませんでした。けれども、ホームステイなど、必ず英語を使わなければならない環境に行くことで、片言でも積極的に会話ができました。この経験を活かして、これからもがんばりたいと思います。

佐藤 絃稀（白鷹中3年）



僕は今回の研修で、自己主張や体を使うことの大切さを学びました。ホームステイの時など、言葉の壁から言いたいことを言わずにいないように、自分から積極的に主張することができました。また、現地の学校でバディとバディの友達と鬼ごっこをした時、初対面だからといって自分を引っ込めず、全力で走って楽しんだことでみんなと仲良くなれたので、いい交流手段だと思いました。

大沼 昇太（白鷹中3年）



私は今回のオーストラリア研修で、たくさんの人と交流してきました。最初は自分から話を切り出すことができませんでしたが、徐々に積極的に話せるようになりました。この経験を通して私は、積極的にコミュニケーションを取る力がついたと思います。これからは、身に付けた力を学校生活で活かし、たくさんの人たちとコミュニケーションを取っていきたいです。

小川 聖稀（白鷹中3年）

